

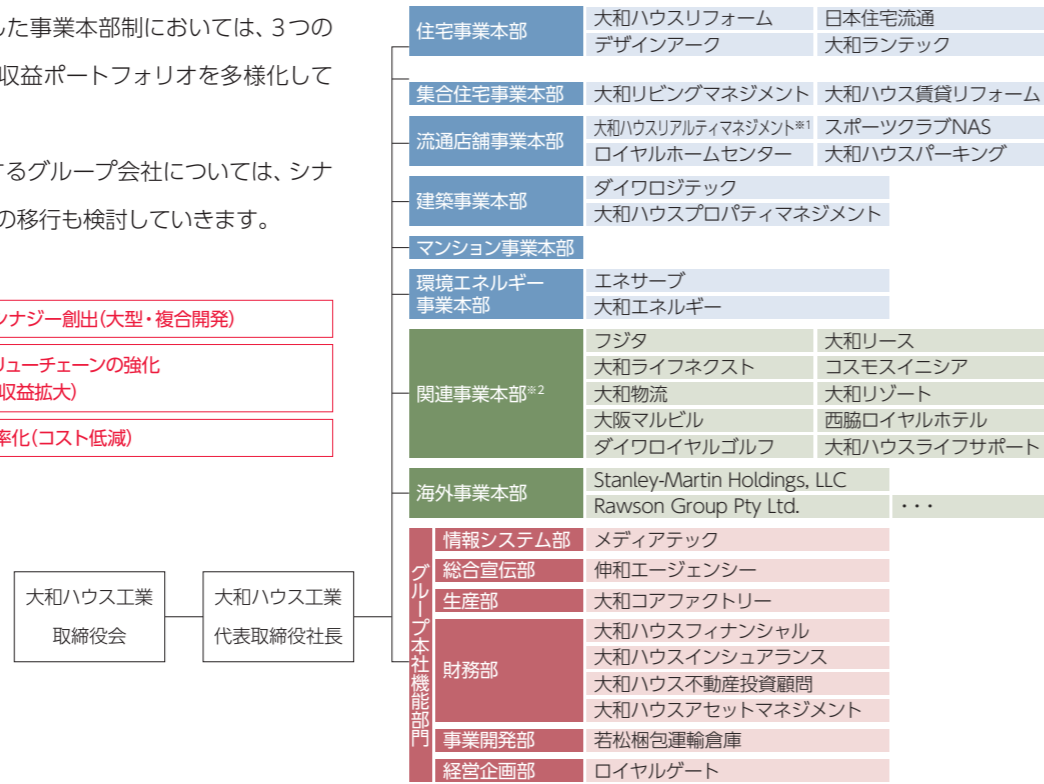
事業本部制による経営で将来価値の最大化を目指します

2021年4月よりスタートした事業本部制においては、3つの成長シナリオの実現により、収益ポートフォリオを多様化していきます。

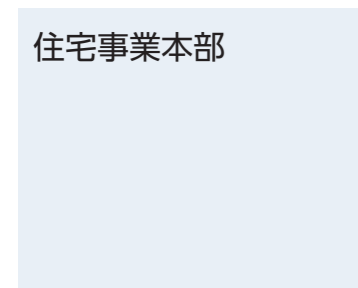
また関連事業本部に所属するグループ会社については、シナジーを考慮し、各事業本部への移行も検討していきます。

3つの成長シナリオ

- ① 事業ポートフォリオを活かしたシナジー創出(大型・複合開発)
- ② グループ会社も一体となったバリューチェーンの強化(請負・分譲に加え、管理・運営の収益拡大)
- ③ サプライチェーン改革による効率化(コスト低減)



*1 2021年10月1日に大和情報サービス株式会社とダイワロイヤル株式会社の経営統合により発足
*2 関連事業本部長は経営管理本部長が担っています。



住宅事業本部長
リブネス事業担当
取締役
常務執行役員
大友 浩嗣

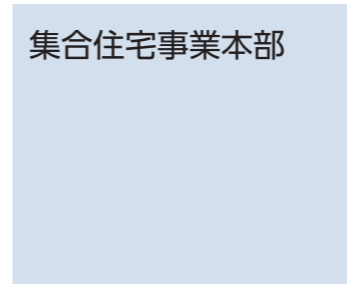
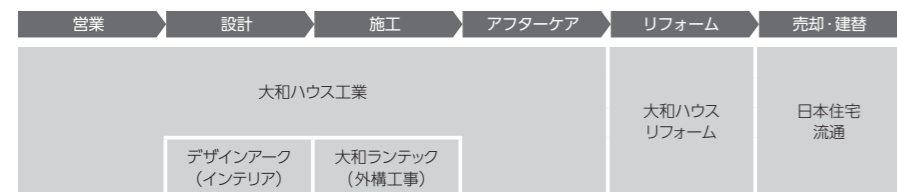
家を、帰る場所から「生きる」場所へ

創業当初からのコア事業を担う住宅事業では、これまでも生活スタイルの変化とともに、家づくりを進化させてきました。新型コロナウイルス感染症の流行によって、人々の暮らし方や働き方は激変し、家族と楽しく過ごす時間、仕事に集中できる環境、家の中でも気分転換ができる空間など、住まい選びもニューノーマルへの対応が求められるようになりました。変化をチャンスと捉え、建物だけではなく、住まい手にフォーカスして、人の暮らしの世の中の困りごとの先を見据えて、価値をお届けします。

3つの注力テーマ

- 生きる場所の基盤になる「新商品」開発の加速
- グループ共同による「ライフスタイル提案の場」の開設
- 引渡し以降の「生活提案サービス」を提供するリブネス事業強化

バリューチェーン



集合住宅事業本部長
取締役
常務執行役員
出倉 和人

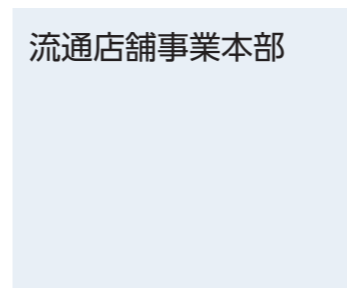
新たな価値共創を生み出す

集合住宅事業では、「誰もが住みやすい、新しい暮らし」を提供し続けることを目指しています。オーナーさまの賃貸住宅経営において、建築いただいた建物を長期にわたり安定資産として維持し、価値を向上させるため、グループ間の連携を強化しています。賃貸住宅の建築、ご入居者さま・物件管理、建物点検・維持修繕を一気通貫で対応できるサポート体制を整え、ご入居者さまやオーナーさまから選ばれる住まいを提供します。

3つの注力テーマ

- 大和リビングの管理戸数拡大
- 建物のメンテナンスサイクルの長期化
- 既存物件へのバリューアップ提案によるD-roomの物件価値向上

バリューチェーン



流通店舗事業本部長
取締役
常務執行役員
下西 佳典

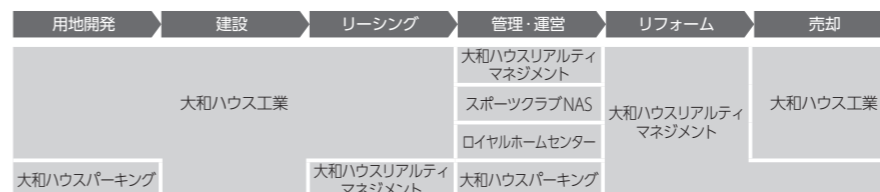
「ゼロイチ」を続ける

1976年から始めた流通店舗事業は、常に社会の変化を捉えニーズをカタチにしてきた、まさに「ゼロからイチ」を創り出してきた事業です。地域の生活や産業を営むうえで不可欠なインフラを創り出すことを目指し、グループ内の連携を今まで以上に強化しています。前例にとらわれない発想と、長期的視野に立ち、「暮らしに何が必要か?」「どうという提案でお客様の心を満たすのか?」を追求し、国内に留まらず、海外にも視野を広げて取り組みを進めています。

3つの注力テーマ

- 次世代型ロードサイド専門店強化
- 特化型ディスカウント専門店を集積したパワーセンターの展開強化
- 食品スーパーを核テナントとしたNSC(ネイバーフッドショッピングセンター)の開発拡大

バリューチェーン



建築事業本部



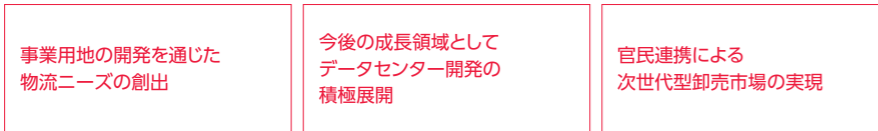
建築事業本部長

取締役
常務執行役員
浦川 竜哉

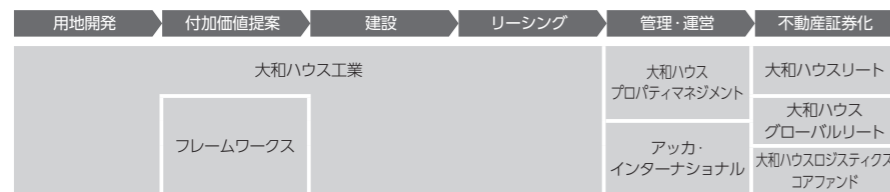
社会が直面する課題に正対

建築事業においては、大きく4つの課題を最優先事項としています。1点目は「南海トラフ地震から生命と財産を守る」とし、当社が手がける開発・建設においては免震装置を積極的に採用しています。2点目は開発・建設を通じて「産業構造を転換する」とし、物流施設を地方創生の核にする取り組みを進めています。次に「食料自給率低下」への備えとしてアジア6カ国のグローバルコールドサプライチェーンを構築しています。そして「世界のDX化」に向け、データセンター開発を含め、DX化に対応できる基盤作りに積極的に取り組んでいます。

3つの注力テーマ



バリューチェーン



注 大和ハウスリート、大和ハウスグローバルリート、大和ハウスロジスティクスコアファンドは、建築事業本部の傘下には入っていませんが、バリューチェーン上の重要な位置づけであるため記載しています。

マンション事業本部



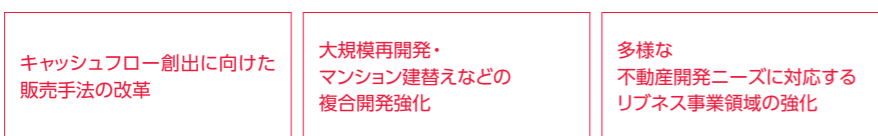
マンション事業本部長

執行役員
富樫 紀夫

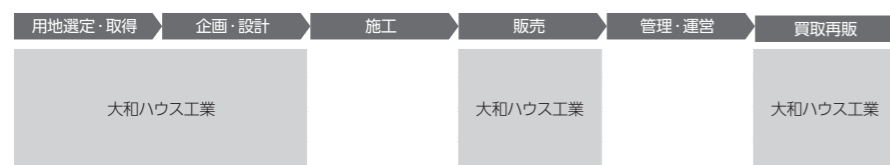
変化はチャンス、逆境を順境に

マンション事業では、グループのデベロッパー部門として、まちづくりの一翼を担う再開発や複合開発も含め、長期的かつ複眼的な視点でマンション用地を捉え、SDGsや環境にも配慮し、不動産価値の最大化を実現する開発・企画・提案を行っています。生活利便性が高いマンション開発に加え、働き方や住まい方に対する価値観の変化にも対応できる暮らしを提案します。またエリアマネジメントに通ずる循環型事業としてマンションの建て替えや、マンションに限らず最適用途での不動産開発なども手がけ、社会が抱える多くの課題に対し事業を通じて解決していきます。

3つの注力テーマ



バリューチェーン



注 マンション事業本部の傘下に入っていない関連事業本部のコスモスイニシアおよび大和ライフネクストとは連携しており、バリューチェーンの強化・拡大を図っています。

環境エネルギー事業本部



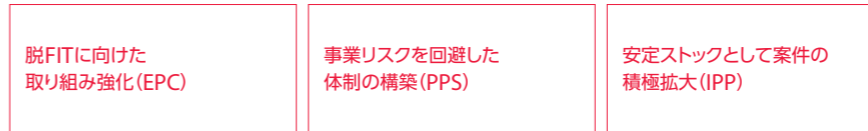
環境エネルギー事業本部長

常務執行役員
永瀬 俊哉

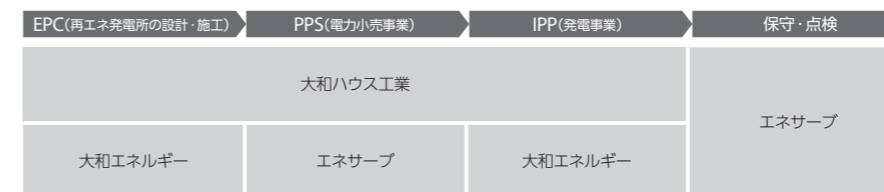
再生可能エネルギーの普及に貢献

日本は2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすると宣言し、米国は地球温暖化対策の世界的な枠組みである「パリ協定」に復帰しました。世界的に脱炭素への動きが加速しており、環境エネルギー事業の重要性は年々高まっています。環境エネルギー事業では「EPC(再生可能エネルギー発電所の設計・施工)」「PPS(電力小売事業)」「IPP(発電事業)」を通じて、お客様のエネルギーの課題を解決するソリューション事業を展開しています。そして、再生可能エネルギーの普及に貢献し、脱炭素に寄与していきます。

3つの注力テーマ



バリューチェーン



海外事業本部



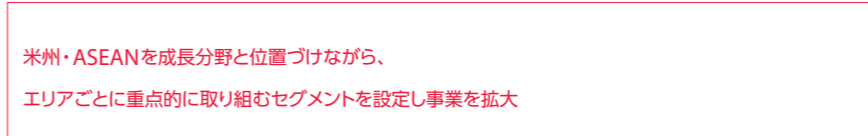
海外事業本部長

取締役
常務執行役員
一木 伸也

日本のクオリティを世界に展開

当社グループの高品質な建築・サービスを世界の人々にお届けするという想いを胸に、1960年代から開始した海外事業はこれまで培ってきた経営資源を最大限に活かした事業展開により、24の国・地域を中心に事業を拡大しています。さらなる事業拡大に向け、世界を東アジア、ASEAN・南アジア、大洋州、米州、欧州の5つに分け、エリア別で管理体制を整備し、グループの強みを活かしながら、持続的な事業投資を継続しています。選択と集中、エリアマネジメント、ガバナンス体制を一層強化し、収益化を図っていきます。

注力テーマ



エリア

